Windows 操作支援·音声ガイドシステム PC - Talket





PC-Talker 7 Ver5 PC-Talker 8 Ver3 PC-Talker10 Ver1



目次

PC-Talker をインストールして、Windows を終了するまでの手順と、 付属ソフトの説明をします。

インストール	2
PC-Talker のインストール方法を説明します。	
_ 起動から終了まで	4
PC-Talker の起動方法と終了を説明します。	
PC-Talker のメニュー	5
PC-Talker のメニューについて説明します。	
AOKMenu	16
AOKMenuについて説明します。	
	19
音声時計について説明します。	
音声電卓	21
音声電卓について説明します。	
MySupport	22
当社からのお知らせの確認や、オンラインマニュアルを確認します。	
PC-Talker コマンド一覧	28

PC-Talker の、コマンド一覧表です。

※ 本書は、PC-Talker 7 Ver5、PC-Talker 8 Ver3、PC-Talker 10 Ver1の共通のマニュアルです。 本書使用のダイアログ等の画像は、PC-Talker 8 中心に、取り込んだ物です。

インストール

本書では、PC-Talker のインストール方法について、ご説明いたします。

PC-Talker インストール

- ① パソコンの電源を入れ、Windows を起動します。
- ② PC-Talker のインストール DVD-ROM をドライブに挿入します。(PC-Talker 7 は、⑤~)



通知バーが消えてしまった時は、Windows キーとEを、押してエクスプローラーを起動します。



④ 「Setup 8. exe の実行」にマウスカーソルを合わせ、左クリックします。



⑤ 画面が暗くなり警告音が鳴り、「ユーザーアカウント制御」のダイアログが出ます。



- ⑥ 使用許諾書 を確認します。内容に同意する場合は「はい(Y)」で、 を押します。 PC-Talker 8 Ver.3 (64ビット版) セットアップ 同意しない場合は、「いいえ(N)」 使用許諾契約 で、
 一
 キーで実行または、 次の製品使用許諾契約を注意深くお読みください。 **ESC** キーでセットアップを中 止します。 契約の残りの部分を読むには、[Page Down]キーを押してください。 VoiceText使用許諾契約書 「VoiceText」及び関連製品(以下、本製品)をご購入されたお客様とペンタックス株式会社(以下、当社)は、当社が本契約書とともに提供する本製品の日本国内のみにおける譲渡不能か つ再使用許諾不能の非独占的使用権を下記条項に基づきお客様に許諾し、お客様も下記条項に ご同意いただくものとして、この契約を締結するものとします。 ■1. 用語の定義 ・本ソフトウェア 本ソフトウェアとは当社がディスクパッケージ、その他の方法で提供されるソフトウェア及び 使用許諾契約の全条項に同意しますか? [いいえ]を選択するとセットアップが終了され 印刷(P) ます。PC-Talker 8 Ver.1 をインストールするには、この使用許諾契約に同意が必要で す。 < 戻る(<u>B</u>) はい(Y) いいえ(<u>N</u>)
 - ※インストールには、数分かかります。電源を切ったり、他のアプリケーションを起動したりしないでくだ さい。
 - ⑦ インストール終了のメッセージが出ます。「OK」で、 🕗 を押し、Windows を再起動します。

PC-Talker 8 Ver.3 セットアップ ×
PC-Talker 8 Ver.3のセットアップが終了しました。 設定を有効にするには再起動が必要です。 エンターキーを押してください。
OK キャンセル

Windows の再起動後に、PC-Talker が組み込まれ、以降使用可能になります。



起動から終了まで

PC-Talker (KTOS)の起動方法から終了方法までを説明します。

起動方法

基本的な起動方法

PC-Talker の起動は、パソコンの電源を入れるとWindows と共に自動的に起動します。

特殊な起動方法

PC-Talker (KTOS) を、Windows の自動起動から外している場合の起動方法 ① ショートカットキーで、PC-Talker を起動します。 Ctrl + Shift + F3 ② ショートカットキーで、KTOS を起動します。*1 Ctrl + Alt + Shift + F6 KTOS 六点漢字 Ctrl + Alt + Shift + F8 KTOS 漢点字

終了方法

基本的な終了方法

PC-Talker (KTOS)は、Windows の終了と共に終了します。 スタートメニューから、シャットダウンを選択し、シーキーを押すと終了します。

特殊な終了方法

Windows は終了せずに、PC-Talker(KTOS)を終了します。 ① KTOS の終了方法は、ショートカットキーで行います。 Ctrl + Alt + Shift + F7 ② PC-Talker の終了方法は、ショートカットキーで行います。 Ctrl + Alt + F3

※1: KTOS を初めて利用される場合は、点字ドライバが組み込まれてないため組み込むかを聞いてきます。



PC-Talker のメニューについて説明します。



音声基本設定

0	音声基	基本設定			
メイン音声とサブ音声					
 ②メイン音声の種類(T) 	Misaki (V	OICE TEXT ≸	女性音)		~
③ _{サブ音声の種類(<u>B</u>)}	サブ音声	を使用しない			~
④字入力 カーソル文字	字の音声(<u>(</u>) サブ音声	を使う		\checkmark
5 ブ音声で読み上げる	5項目				
✓ x=1	🗹 Xyt	ヱージボックス	☑ Webベ	ージのリンク	
● 音声スピードの設定モー	-ド(<u>D</u>)	◉標2	隼 〇高	速	
⑦音声スピード(S)	4 ¥	遅い ――	0	一 速い	
(8)音声の音程(0)	4 ¥	低音 🛑	0	高音	
9 🗹 音量調整をする(M)					
∭マスターボリューム(⊻)	6 ¥	лу —		- 大	
①音声出力ボリューム(日)	9 🗸	лу. 			
1200 サブ音声の調整をする(U)					
(13) けブ音声の音程(Ⅰ)	4 v	低音	-0	- 吉吉	
⑭ スビード微調整(E)	0 ~			- +	
(し)ボリューム微調整(L)	0 ~			- +	
16 出力先デバイスの変更(P)			設定	キャンセル	,

① 音声出力

PC-Talker の音声を出力するか、停止するか設定します。

- ② 音声の種類 音声エンジンの種類を選択します。
- ③ **サブ音声の種類** サブ音声エンジンの種類を選択します。
- ④ 文字入力 カーソル文字の音声

文字入力やカーソル移動時に使用する音声を選 択します。

⑤ サブ音声で読み上げる項目

サブ音声エンジンで読み上げる項目を設定しま す。

⑥ 音声スピードの設定モード 音声スピードを標準モード、高速モードに設定 します。

⑦ 音声スピード 音声スピードを1から9の範囲で設定します。

⑧ 音声の音程

音声の音程を1から9の範囲で設定します。 音程を極端に低くしたり高くすると、「カタカナ、ひらがな」などの区別が、解りづらくなります。

 ③ 音量調整をする

音量調整を**手動**にするか、自動でするかを設定します。 チェックをすると、パソコン本体内部に<u>スピーカーがある機種でボリュームのつまみ</u>が無く、Windows 内のボ リュームコントロールから音量調整を行う機種の時に有効に利用できます。

10 マスターボリューム

パソコン本体のメインボリュームを9段階の音量レベルから設定します。

- ※ Windows 既定のサウンドデバイスの音量を変更しますので、メディアプレーヤなど他のソフトウェアの音量も増減します。
- ① 音声出力ボリューム

PC-Talker のボリュームを9段階の音量レベルから設定します。 ※ PC-Talker が出力する音声の音量を変更しますので、他のソフトウェアの音量へは影響しません。

12 サブ音声の調整をする

メイン音声とサブ音声の音程、スピード、ボリュームの調整を行うか行わないか設定します。

13 サブ音声の音程

サブ音声の音程の調整を行います。

④ スピード微調整

サブ音声のスピードの微調整を行います。

15 ボリューム微調整

サブ音声のボリューム微調整を行います。

16 出力先デバイスの変更

複数のスピーカーが接続されているパソコン環境において、PC-Talker の音声を別のスピーカーから出力させることができます。

英語音声の設定

Ø		英語	音声の設定	
英語	音声			
1 🖳	ぬらか読みに 英語音声	を使用する	(E)	
(2) ⊽≾	マ字入力 カーソル文字の)アルファベッ	ットに 英語音声を使用する	©
3	コフォネティック読みにも	英語音声を	使用する(<u>F</u>)	
4	メイン音声の種類(工)	Kate (VOI	CE TEXT 英語女性音)	~
5	サブ音声の種類(<u>B</u>)	サブ音声を	を使用しない	~
6	音声スビード(<u>S</u>)	4 ¥	遅い ——	- 速い
7	音声の音程(0)	4 ¥	低音 ————————————————————————————————————	高音
8	ボリューム微調整(<u>し</u>)	0 🗸		+
			=14min	++)+71
				エマノビル

- なめらか読み時に、英語エンジンを使用する 設定を行います。
- ② 文字入力時、カーソル移動時の、アルファベットに対して、英語エンジンを使用する設定を行います。
- ③ フォネティック読みにも英語音声を使用する チェック有りで、アルファベトのフォネティ ック読みに英語音声を使用する設定します。
- ④ 英語音声エンジンの種類を選択します。
- ⑤ **サブ音声の種類**を選択します。
- ⑥ 英語音声エンジンのスピードを設定します。
- ⑦ 英語音声エンジンの音程を設定します。
- ⑧ ボリューム微調整を設定します。

読書音声の設定

メイン音声やサブ音声とは別の音声の種類、音声スピード、音程を設定しておくことができます。 小説の読み上げなど、落ち着きのある音声でゆっくりと聴きたい読書向けの設定です。

۲	読書音声の設定
	読書音声
1	読書音声の種類(T) Misaki (VOICE TEXT 女性音) 🗸 🗸 🗸 🗸
2	音声スビードの設定モード(<u>D</u>) ●標準 ○高速
3	音声スピード(S) 4 v 遅い 建い 速い
4	音声の音程(0) 4 🗸 低音 ———————————————————————————————————
5	ボリューム微調整(L) 0 +
6	読書読みの読み方(B) ●読書向けに最適化 ○なめらか読みの設定読み
	設定キャンセル

- ① 読書音声の種類を選択します。
- ② 音声スピードの設定モード 読書音声の音声スピードを標準モード、 高速モードに設定します。
- ③ 読書音声のスピードを設定します。
- ④ 読書音声の音程を設定します。
- ⑤ 読書ボリューム微調整を設定します。

⑥ 読書読みの読み方

読書向けに最適化

読書向けの次の読み方で読み上げます。 句点 括弧は読まない。 記号は読まない。 数字は位取りして読む。 改行は息継ぎする。 英語読みで読む。

なめらか読みの設定読み 現在のなめらか読みの読み方に従い読み上げます。

音声ガイドの設定

う 音声ガイド	D設定 ×	① メニューの説明文をガイドする
メニューとダイアログ		どの様な操作をすれば良いかを説明します。
① ☑ メニューの説明文をガイトする(<u>D</u>)		② 項目の操作をガイドする
② ☑ 項目の操作をガイドする(<u>0</u>)		項目の操作をガイドします。
③□項目のコントロール名をガイドする()	D D	例:・・の文字入力
(④) ◎項目のジョートカットキーをカイトする	λ(Ħ)	③ 項目のコントロール名をガイドする
クリップボード		コントロール名を読み上げます。
(5) ☑ クリッブボードを自動的に読み上げ	5(<u>C</u>)	例:・・のプッシュボタン
キーボード		④ 項目のショートカットキーをガイドする
⑥ ☑ 入力キーの文字を読み上げる(K)		メニュー項目に該当する、ショートカットキー
𝖤 ☑ ナムロック キャブスロック 英数かな	キーの入力を読み上(げる(<u>し</u>)	を読み上げます。
バスワード入力		⑤ クリップボードを自動的に読み上げる
⑧ ☑ バスワードを読み上げる(P)		クリップボードが変更されたときに自動的に
❷□バスワードのカーソル移動時 識別語	乱みする(<u>W</u>)	読み上げます。
画像		⑥ 入力キーの読み上げ
⑩ ☑ 画像を自動的にOCR認識して読み」	上(げる(<u>R</u>)	キーボードから入力した文字を読ませたくな
	設定 キャンセル	いときに チェックを外します
		 ※ PC-Talker 記動時は、必ずチェックが入ります
⑦ ナトロック キャップスロッ	ック 革教かなキーの読み ト	ー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

① テムロック キャッフスロック 央致かなキー ーの読み上げ

各ロックのオンオフを、ガイドするかを設定します。

- ⑧ パスワードを読み上げる
 - パスワードを、ガイドするか設定します
- ⑨ パスワードのカーソル移動時 識別読みする

パスワードのカーソル移動時に、識別読みすることによって、文字の確認ができます。

1 画像を自動的に OCR 認識して読み上げる

Web ページの画像に移動すると自動的に OCR 認識して読み上げます。

なめらか読みの読み方



- 句点を読む 句読点を読むか読まないかを設定します。
 活弧を読む 括弧類を読むか読まないかを設定します。
- ③ **記号を読む** 記号類を読むか読まないかを設定します。
- ④ 位取りをして読む
 数字を位取りして読むか読まないかを設定します。
- ⑤ 改行の読み方

読み上げ時、改行を『**読む**』は「かいぎょう」と読 み上げます。

『**読まない**』は、改行を無視して上の行と下の行を 続けて読みます。

『**息継ぎ**』は、改行の部分で少し間隔を置いて下の 行を読みます。

- ⑥ 英語の読み方
 - 英語読み しない………英単語を1文字 1文字ずつ読みます。スペルチェックに有効です。
 - 英語読み する………英語の発音で読みます。

英語音声で読み上げる・・・・英語音声で読みます。(選択できないときがあります) ※英語音声の設定で[なめらか読みに 英語音声を使用する]がチェックされている 場合に選択できます

翻訳して読み上げる……英語を日本語に翻訳して読みます。(選択できないときがあります)

※「IBM 翻訳の王様」がインストールされている環境で選択できます。

IBM 翻訳の王様は、Windows XP 対応のソフトウェアですが、現在は販売されておりません。

カーソル文字の読み方

		-		
A	カーソル文字の読み方	×	日本語変換時の読み方	×
読み方(R)			読み方(R)	
① ○音読み	 ○音訓読み ●簡易読み ○詳細音訓 ○詳細 	区分	 ① ● 音読み ● 音訓読み ● 簡易読み ● 詳細音 	□] ○ 詳細区分
○ 識別読み	○ビーブ		○識別読み ○ビープ	
② □簡易読み 詐	¥細音訓以外の読み方を使用する(<u>A</u>)		②□簡易読み 詳細音訓以外の読み方を使用する(A)	
③ ロフォネティッ	ク読みする(工)		③ □フォネティック読みする(I)	
カーン川場作			⑥ ☑変換中 ガイドライン全てを読み上げる(g)	
(4) マト下カーン/	移動時 1行読みする(1)		確定文字列の読み方(E)	
	לא א גאוים נדר גאוישבערט געשינידר גאוישבערט	_	⑦ ●ビーブ ○なめらか読みの設定読み ○句点	括狐 記号を読む
点字符号読みコ	コマンド 点字の種類(B)		○校正読み	
⑤ [●] 六点漢字	○漢点字 ○両方		拡張機能	
	設定キャンセ	IL	⑧□国語辞典の語釈読み機能を使用する(K)	
			設定	キャンセル

日本語変換時の読み方

① 読み方

カーソルを移動したときや文字を入力したときの読み方を設定します

- ビープ・・・・・・・・・・・簡単な電子音を出力します。
- ② 簡易読み 詳細音訓以外の読み方を使用する

チェックありで、全ての「読み方」を、設定できます。

チェックなしで、「簡易読み」「詳細音訓」の二つの読み方を切り替えます。

③ フォネティック読みする

チェックありで、漢字や記号以外の文字を詳しく読み上げます。

④ 上下カーソル移動時、1行読みする

上下矢印キーを押して、カーソルが上下したときに、カーソル位置から行末までを読み上げます。

⑤ 点字符号読みコマンド 点字の種類

点字符号読みコマンド実行時に読ます方法を設定します。

⑥ 変換中ガイドライン全てを読み上げる

日本語変換時、注目文節のみを読み上げるか、ガイドライン全てを読み上げるかを設定します。

⑦ 確定時の読み方

変換候補を確定したときの読み上げ方を設定します。

なめらか読みの設定読み・・・・・・ 確定した文字を、なめらか読み設定と同じ読み上げをします。

句点 括弧 記号を読む ……… 確定した文字を、句点、括弧、記号を含めすべて読み上げます。

校正読み・・・・・・・・・・・・・・・・・ 確定した文字列を、校正読みで読み上げます。

⑧ 国語辞典の語釈読み機能を使用する

日本語変換の同音異義語などで迷ったときに、国語辞典を検索して、素早く読み上げるようになります。

国語辞典読み	先頭一致検索	Ctrl	+	Alt	+	Η	
国語辞典読み	完全一致検索	Ctrl	+	Alt	+	J	

点字ディスプレイの設定

点字ディスプレイの設定		>
①口店支ディスプレイ茶	使用する(の)	
==+:+		
衣小力法		
② 表示する点字(B)	六点漢字	~
3	点訳ソフト固有の変換方式	点訳方式の設定(E)
	*語亦協の主子内家(4) のよ	
	▶詰変換の衣小竹谷(⊆) ●音	『戸り訳み ○ 浅子
点字ディスプレイ機	쁆	
⑤ 機器名(M)	⑥ 通信ボート(<u>P</u>)	⑦ 通信速度(<u>s</u>)
接続しない	▲ COM1 通信ボート	▲ 1200 bps
ブレイルノート 20A ブレイルノート 40A		2400 bps 4800 bps
ブレイルノート 46C/4 ブレイルノート 46X	46D COM4	9600 bps 19200 bps
ブレイルメモBM16	COM	38400 bps
ブレイルメモBM24 ブレイルメモ BM32	COM/	
ブレイルメモ BM46		
ブレイルメモスマート	- 16 COM11	
ブレイルメモ スマート ブレイルテンダー RT	- 40 ⊑46 ▼ □COM12	¥
8 表示マス数	▽マス数を自動的に設定す	Э(д)
	20 (16~)	
	言文	定 キャンセル

アプリケーション拡張設定



- 点字ディスプレイを使用する
 点字ディスプレイを使用するかしない
 か設定をします。
- ② 表示する点字 点字ディスプレイに、表示する点字方式 を設定します。
- ③ 点訳方式の設定 1級英語点字などの点訳方式を指定 します。(エクストラ点訳データ選択時)
- ④ カーソル文字 日本語変換時の表示
 表示するデータを、音声と同じ形式か、
 六点漢字または漢点字かを設定します。
- (5) 機器名の設定
 接続機器名を選択します。
- 通信ポート 接続ポートを選択します。
- ⑦ 通信速度
 通信速度を選択します。
- ⑧ 表示マス数
 表示マス数を、指定します。
 通常、接続機器に合わせて、自動的に設定されます。
- Excel カーソル移動時 番地を読み上げる Microsoft Excel で、カーソル移動時に番地を 読むか、読まないかを設定します。
- ② Excel カーソル移動時 日本語入力規則を読み 上げる

EXCEL 操作中、カーソル移動時にそのセルに設定されている日本語入力の規則を読み上げるかを設定します。

③ Excel 上下カーソル移動時 行読みする
 Microsoft Excel で、上下カーソル移動時に、
 1行読みを行う設定をします。

Internet Explorer で、仮想カーソルの移動を、Ctrl キーとの組み合わせでなく、直接上下キーを利用する 設定をします。

⑤ Internet Explorer エディット操作を NetReader 互換の操作方式にする

Web ページ内のエディットボックスへフォーカス移動したとき、誤入力を防止するために NetReader 互換の操作方式を使用するモードです。

⑥ Internet Explorer マウスを追従する

Web ページ内のリンク項目や、ボタン、エディットボックスなどマウスクリックの動作が有効な項目へカーソル移動したとき、その項目上にマウスポインタを移動させます。

⑦ Internet Explorer 通知バーへ自動的にフォーカス移動する チェックあり、通知バーが表示されると、自動的に通知バーの操作へとフォーカス移動します。 チェックなし、フォーカス移動の制御をしません。

⑧ Internet Explorer 通知バーの表示をサウンドで知らせる

チェックあり、通知バーが表示されたときに効果音を鳴らします。 チェックなし、効果音を鳴らしません。

ユーザー補助	
<u>き</u> ユーザー補助	① 代替キー
代替キーと 拡張コマンド	Ctrl + Alt の代替キーを設定します。
① Ctrl+Altコマンドの代替キー(S) Ctrl v	Ctrl または、Shift を代替えキーとして使う
代替キーを押す回数(N) 2回 ~	か、代替キーを 使用しない かを設定します。
代替キーが有効になったときの通知方法(g) 音声ガイド 🗸	代替キーを使用する場合、キーを続けて押す回
 む張コマンドのショートカットキー(E) Ctrl+Alt+Windowsキー 	数を1回、2回、3回のいずれかで、設定します。
拡張コマンドの代替キーは、代替キーを押す回数+1回押します。	代替キーが有効になったときの通知方法を、音
マウス補助	声ガイド か、ビープ音に設定します。
③ ⊡マウスカーソルを読み上げる(M)	② 拡張コマンドのショートカットキー
弱視者・開発者向けオプション	Ctrl + Alt + Windows キーを、使用する拡張コ
④ 視覚的ユーザーインターフェースの変更(U)	マンドの代替えキーを設定します。
±2∰h	③ マウス補助
REED 「Windows記録時に PO-Tellorを自動記動する(P)	マウスカーソル移動時にマウスカーソル位置の
	情報をガイドします。
設定 キャンセル	④ 視覚的ユーザーインターフェイスの変更
 ⑥ 設定の書き出し(⊻) 	※1 参照
 ⑦ 設定の取り込み(1) ⑧ 設定値を出荷時の状態に戻す(B) 	⑤ Windows 起動時に PC-Talker を自動起動する
	Windows が起動したと同時に PC-Talker も起動

⑥ 設定の書き出し

現在のPC-Talker の設定値をファイルに書き出して保存します。ファイル名の拡張子は、「.prof」固定です。 保存したファイルは、設定の取り込みを実行して、設定値を復元することができます。

させるかを設定します。

⑦ 設定の取り込み

ファイルに保存されている設定値の状態に復元します。

⑧設定値を出荷時の状態に戻す

PC-Talker を初めてインストールした直後の設定状態に戻します。

※「祝見的エーリーインメーノエイへの友史	
🔥 視覚的ユーザーインターフェースの変更	×
相当约动甲	
抗見中外水本	
① マウスカーソル位置へ 十字線を表示する(H) 色 多明度	0% ~
② □十字線の中心に照準円を表示する(C) 色 ✓ 透明度	0% ~
③□フォーカスの強調枠を表示する(E) 色 ✓ 透明度	50% ~
④□仮想カーソル移動時の注目枠を表示する(⊻) 色 📃 ∨ 透明度	50% ~
(5)十字線と枠線の幅(W) 標準 ~	
ヘルプメニュー(Ctrl+Alt+Win+F12)	
6 拡大率 通常 、表示色 白黒反転 、 透明度	0% ~
サポート・開発者向けの支援機能	
⑦ □音声キャブションを表示する(」)	
⑧□点字キャブションを表示する(B)	
拡大率通常 🚽 表示色 白黒反転 🗸 透明度	30% ~
設定 キャ	,ンセル

※1 視覚的ユーザーインターフェイスの変更

① マウスカーソル位置へ 十字線を表示する

マウスカーソルを見失わないよう、マウスカーソル位置で交差する十字線を表示します。

十字線の色

十字線の表示色を選択します。

十字線の透明度

十字線の透明度を 0%から 90%の中から選択します。

透明度が大きくなるほど十字線の色は薄くなりますが、その下の画面が鮮明に見えてきます。

② 十字線の中心に照準円を表示する

十字線の交差する位置を更に目立つように、円を表示するかしないかを設定します。

照準円を<u>表示する</u>場合は、**照準円の色、照準円の透明度**を、設定できます。

③ フォーカスの強調枠を表示する

フォーカスのあるウィンドウやコントロールを囲む強調枠を表示するかしないかを設定します。 フォーカスの強調枠を<u>表示する</u>場合は、**強調枠の色、強調枠の透明度**を、設定できます。

④ 仮想カーソル移動時の注目枠を表示する

仮想カーソル位置の文節や段落を囲む注目枠を表示するかしないかを設定します。

仮想カーソル移動時の注目枠を表示する場合は、**注目枠の色、注目枠の透明度**を、設定できます。

⑤ 十字線 と 枠線の幅

十字線および、強調枠、注目枠の線の太さを**〈標準〉〈やや太い〉〈太い〉**の中から選択します。

⑥ ヘルプメニューの視覚的効果

Ctrl+Alt+Win+F12 で実行する PC-Talker のコマンドヘルプの表示形式に関する項目です。

ヘルプメニューの拡大率

ヘルプメニューの文字拡大率を選択します。

ヘルプメニューの表示色

ヘルプメニューの表示色を選択します。

ヘルプメニューの透明度

ヘルプメニューの透明度を0%から90%の中から選択します。

⑦ アクセシビリティ検証用の支援機能

開発者向けの音声キャプションを表示する

映画の字幕表示のように、PC-Talker の読み上げ内容が音声キャプションのウィンドウヘリアルタイム表示されます。

Web クリエーターなど開発者が自身の Web ページや開発アプリのアクセシビリティ検証を目的とした支援機能です



音声キャプションの拡大率

音声キャプションの文字拡大率を選択します。

音声キャプションの表示色

音声キャプションの表示色を選択します。

音声キャプションの透明度

音声キャプションの透明度を0%から90%の中から選択します。

補足:音声キャプションのウィンドウサイズ、位置やサイズを変更する。

音声キャプションのウィンドウは最前面に表示されますが、キー入力やマウス操作を受け付けないため、その下に重なり合うアプリケーションのボタンなどはマウスクリックできるようになっています。

音声キャプションのウィンドウサイズを変更したり、ウィンドウの位置を移動するには、音声キャ プションウィンドウの右上隅に表示されているマウスアイコンをクリックしてください。一時的に 音声キャプションのウィンドウをマウス操作できるようになりますので、一般のウィンドウと同じ ようにマウスドラッグでサイズ変更したり、位置を移動できます。もう一度、マウスアイコンをク リックするとマウス操作はアプリケーション側に戻ります。

スタートメニューボタン スタートメニュ・ <mark>移動</mark> Internet Explore	・サイズ変更不可	
	スタートメニューボタン スタートメニュー Internet Explore	•
		15:15 2013/05/15

⑧ 点字キャプションを表示する

ピンディスプレイ機器を使用時、表示中の点字と原文テキストが点字キャプションのウィンドウヘリアル タイム表示されます。

バージョン情報

バージョン情報	×	バージョン情報を表示します。
PC-Talker 8 64bit Version 2.00		
この製品は次の方にライセンスされています		
高知システム開発		
Windowsログオン名		
Copyright © Kochi System Development 2002-2012. All rights reserved.		
この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を配布 すると、著作権の侵害となります。		
ОК	KOCHI SYSTEM DEVELOPMENT	



AOKMenu

AOKMenuについて説明します。

AOKMenu は、当社製品(MYWORD V Pro 等)を、簡単に起動するためのメニューです。 この、メニューから <u>Windows を終了</u>することもできます。

起動方法

AOKMenu の起動はショートカットキーでおこないます。 初期値は、F12キーで起動します。

AOKMenu



並び順の変更 F2

並び順の変更	AOKMenu の、項目の並び替えを行います。
MyEdit(は 現在 1番目の並び位置にあります 移動先の並び位置を 選んでください	
■ 1番目 現在の位置 🔷	
OK キャンセル	
並び順を元に戻す	
操作オプション F3	

操作オプション	キーボードの設定
キーボードの設定 AOKMenuを開くキー F12 ∨ キーを押す回数 1回 ∨	AOKMenu を開く、キーを設定します。 <u>初期値は、「F12」を1回押すと開きます。</u> 設定可能なキーは、 F12 Print Screen
□ Windowsキーを使えないようにする	Scroll Lock Pause
設定キャンセル	Ctrl Shift
	キーを押す回数は、1回から3回の間で設定

Windows キーを使用しない(W)

キーボードのWindows キーを使用しないように設定します。

キーを押して Windows のスタートメニューを出さないようにする設定です。

この設定を行うと誤ってWindowsキーに触れてもスタートメニューが表示されることがありません。

表示オプション F4

表示オプション	一覧の拡大率
拡大率	AOKMenu の拡大率を 通常、拡大1から
一覧の拡大率 拡大3 マ	拡大7 までで設定します。
	F6 で、拡大できます。
ダイアログの拡大率 通常 🗸	ダイアログの拡大率
	設定ダイアログの拡大率を 通常、拡大1、
表示色	拡大2 で設定します。
一覧の表示色	一覧の表示色
Windows標準 vaA1あア虫	一覧の表示色の設定を、行います。
ダイマロガの色	ダイアログの色
→ 「「」」 Windows標準 → AOKMenuを開くキー	ダイアログの表示色を、設定します。
	拡大ダイアログの操作中は、始点を固定で
	きるように表示する
□ 拡大ダイアログの操作中は 視点を固定できるように表示する	チェックを付けると有効になります。
設定 キャンセル	

オンラインマニュアル F1

AOKMenu オンラインマニュアルを、起動します。

<u>バージョン情報(A)</u>

バージョン情報	×	AOKMonu のバージョン桂却な詰ひ上げます 詰ひ上		
OKMenu Version 6.80		AUKMeniu のハーション情報を記み上りより。記み上 げ後、「」キーで AOKMenu に戻ります。		
この製品は次の方にライセンスされています				
高知システム開発				
Copyright (C) Kochi System Development 1997-2012. All rights reserved.				
この製品の全部または一部を無断で複製したり、無断で複製物を配布 すると、著作権の侵害となります。				
ОК	KOCHI SYSTEM DEVELOPMENT			

AOK メニューの終了(X)

AOKMenu を終了します。



音声時計は、PC-Talker が動作していることを前提とします。 PC-Talker が動作していないと、時刻の読み上げなどの機能は使用できません。

AOKMenu・アクセサリから音声時計は起動します。





F2キーで、現在の時刻を読み上げます。 読み上げる時刻はボタンを押された瞬間の時刻です。

読み上げ例 『午後10時10分10秒』

日付の読上げ

F3キーで、現在の日付を読み上げます。 読み上げる日付はボタンを押された瞬間の日付です。

読み上げ例『2013年6月11日 火曜日』

表示設定

F4 で、音声時計の表示設定を行います。

表示オプション	① 衣示フォント		
①表示フォント ◎日シック ○明朝	ゴシックか明朝に設定します。		
② _{表示角} 白里反転 ▼ 12-24-56	② 表示色		
	表示色を設定します。		
③ 拡大率 通常	③ 拡大率		
	標準、拡大1~拡大7で設定します。		
	④ 時刻の形式		
●☑ステータスバーを表示する	読み上げ形式午前午後形式か24時間形式かを設		
 ダイアログボックス 	定します。		
- ダイアログの色 Windows標準 > 時刻の読み上(ƒ(Ţ)	⑤ ステータスバーを表示する		
	ステータスバーの表示を設定します。		
タイアロクの拡大率 通常 →	⑥ ダイアロボックス		
♡ □拡大ダイアログの操作中は 視点を固定できるように表示する	ダイアロボックスの色と拡大率を設定します。		
	⑦ 拡大ダイアログの操作中は、始点を固定できるよう		
設定 キャンセル	に表示する		
	チェックを付けると有効になります。		

F5で、時刻と日付を変更することができます。

音声時計は、Windows がシステム内部に持っている時計を参照するため、この設定が本来の日時とずれていると 音声時計でも正確な日時を読み上げることができません。

日時の変更
2012 🗼 年 12 🔹 月 11 🔹 日
12 퇒 時 🛛 11 🝨 分
設定キャンセル

アラームの設定

F6 で、アラームを設定できます。

	アラームの設定					
1	□序定時刻1 12 ≑ 時 00 ÷ 分					
	□予定時刻2 12 ↓ 時 00 ↓ 分					
	□予定時刻3 12 ↓ 時 00 ↓ 分					
2	サウンド					
	◎ 予定時刻に 時刻を読み上げる					
	○ 予定時刻に 音を鳴らす					
	サウンドファイル名 参照					
設定キャンセル						

アラームの確認

F7キーで設定したアラームの時刻を確認します。

時報の設定

F8で、時報を設定できます。

時報の設定 ×
サウンド
○時刻を読み上げる
○指定されたサウンドを鳴らす
●時報(如鳴らさない
時報のタイミング 1時間ごと v
サウンドファイル名を照
設定 キャンセル

①予定時刻

アラームの予定時刻を設定します。予定時刻は、3つま で設定できます。

2 サウンド

予定時刻に<u>時刻を読み上げる</u>か、<u>音を鳴らす</u>かを、設定します。

音を鳴らす場合は、サウンドファイル^{*1}を指定します。

※日時の変更は、年は西暦4桁(1980年から2099年まで)で、時は、24時間形式で入力してください。
 ※音声時計は2015年9月28日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。
 ※1:サウンドファイル 拡張子がWAVファイルです。(例:Windows を起動したときの音など)



音声電卓は、PC-Talker が動作していることを前提とします。 PC-Talker が動作していないと、使用できません。

AOKMenu・アクセサリから音声電卓は起動します。

テンキーを利用して電卓と同じように使用できます。

\$7		音声電卓		- 🗆 🗙	キーボード
ファイル(E) 編集(E)	表示(<u>V</u>) ヘルプ(<u>H</u>)			\mathbf{O}	Num Lock 3 4 1 -
7	8	9	<u> </u>	CE(E)	
4	5	6	+		4 5 6
1	2	3	×	÷	
	0	-	=	=	
①「―」マ· ②「」、ー	イナス				0,
ر [+ i ک	フヘ				

- ②「+」プラス
- ③「/」割る
- ④「*」掛ける
- ⑤「=」イコール
- ⑥フルキー「C」クリアー(電卓リセット)
- ⑦フルキー「E」キャンセル(直前の数値クリアー)
- ⑧フルキー「R」 読み上げ

終了

- Alt + F4 で
- 点字キーは、321456 め + SP で終了します。

※音声電卓は2015年9月28日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

MySupport

当社からのお知らせ、当社アプリの共通設定、オンラインマニュアルを確認します。

	🗘 MySupport – 🗆					
	撮作(E) 読み(R) 編集(E) 表示(Y) ヘルプ(出)					
	🍺 上へ 🔊 拡大 😡					
	x==-	(1/22) お知らせ 1/22				
(D i お知らせ	31. アドボイス5 年賀状セットのご案内 2012年11月12日	^			
Ć	▼	■2.10-100 ⁻¹⁵⁰ ■3.1 ■4. お知らせ一覧領域 1年11月21日 ■5.4 目次一覧領域				
		■ 6. ■ 7. アドボイス5 年賀状セットのご案内 2010年11月16日				
	MyEdit II	 ■ 8. 新PC-1alkerンリースとVoiceWorksを発売 2010年9月29日 ■ 9. MyBook II、MyBookが、サビエ図書館に対応 2010年9月29日 ■ 10. MyBook II 新発売 2010年3月8日 				
	🧔 MyFile	■ 11. PC-Talker 7 発売 2009年10月12日	,			
	👩 र्नत्रप्रे-२४८२-		>			
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1						
	MySupport	アドボイス5・平成25年版 年賀状セット発売	^			
		▲ 文領域 日頃は当社製品 このたび当社では、アドボイス5のオブションソフト 平成25年版 年賀状セットを発売い たします。				
		自由に編集可能なアドボイス5専用の干支のイラスト付きの年賀スタイル40種類と、ア <	>			

① お知らせ

最新のお知らせを確認します。

2 ツール

読み辞書の編集などを実行します



※MySupport は 2015 年 9 月 28 日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。

1. 読み辞書の編集 ※1

PC-Talker 読	み上げ辞書の編集	毛を、行います。		_
16	読み	み辞書の編集	- 🗆 🗙	
操作(E) ヘルプ(日)				
	=	売み	^	
27 燕龍茶	+	ンロン茶		
28 遅まぎなた	がらオ	ツマキながら		
29 点鼻薬	7	シビヤク	计音)
30 内助の功	内 内]助のコウ	注思	
31 日英辞書	引き 二	チエイ辞書引き	むやみに読みを	変更すると、通常
32 膝関節痛	シ	ツカンセツツウ	の詰ひしげがす	いかした言ひたた
33 武市半平	太タ	ケチハンペイタ	の配み上りが、オ	うわっていた町のケルーム
34 棒棒鶏	71	シバンジ	ります。	
	<u>熟</u> 語の追加【F:	2]		
4			×	
レディ				

追加 F2 を押して、熟語と読みを入力します。

	熟語の追加	
熟語		
	今の読みを音声認識するには Alt+F8 を押します	
読み		
0/647		
	人力した読みを音声認識するには Alt+F8 を押します	
	啓録 キャンセル □はけて登録する	
正変更	夏したい項目を選択し、 	
	熟語の修正	
熟語	陸棒鶏	
	今の読みを音声認識するには Alt+F8 を押します	
読み	バンバンジ	
	↓	
CONCENTRE DE BONK FORCE ANTI O ETTOR F		
登録 キャンセル		
A strategy		
除 削隊	€したい項目を選択し、 Delete を押します。	



2. キーボードガイド

キーボードの配置を、調べます。

3. システム情報

現在のパソコン情報(CPU、メモリサイズなど)を調べます。

4. 最新版のチェック

当社インストールアプリの、最新版にアップデートできる物がないか、確認します。

5. 体験版のダウンロード

当社インストールアプリ以外のアプリを、30日間体験できる物の一覧が表示されます。 ※注意:インストール後30日間なので、使用しなくても30日で、ご使用できなくなります。

※1 読み辞書の編集は2015年9月28日現在の物です。将来予告なしに変更されることがあります。 読み辞書の編集は、拡大機能、背景色の変更はできません。

6. PC-Talker の初期設定

PC-Talker の動作環境を設定します。

🜔 ツール/PC-Talker 10の初期設定	1/8
🐵 自動起動の設定	
デキストサービスの詳細設定	
😵 AdobeReaderの設定	
CD 自動起動の設定	
✤コンピュータの保護(UAC)の設定	
😵 Intel Graphics ホットキーの設定	
🥐 PC-Talker 10の初期化	
▼VDMW互換設定	

自動起動の設定

Windows 起動時の動作を設定します。

◎ 自動起動の設定	×	
Windows起動時に開始するプログラムをチェックします。		PC-Talker を自動起動する PC-Talker を自動起動するか、しないかを設
☑ PC-Talker を自動起動する		定します。
☑ ログオン画面読み上げサービスを起動する		
☑ シャットダウン画面読み上げサービスを起動する		ログオン画面読み上げサービスを起動する
☑ KTOS を自動起動する		Windows にログオンする際に使用する画面
☑ AOKMenu を自動起動する		の読み上げをするか、しないかを設定します。
☑ マイスタートメニュー を自動起動する		
☑ PC-Talker タッチ機能を使用する		
設定キャンセル		

シャットダウン画面読み上げサービスを起動する

シャットダウン時の Windows Update 等の画面を、読み上げするか、しないかを設定します。

KTOS を自動起動する

点字入力システムを起動するか、しないかを設定します。

AOK メニューを自動起動する

F12 で表示される AOK メニューを、起動するか、しないかを設定します。

マイスタートメニューを自動起動する デスクトップに、マイスタートボタンを追加し、 Windows キーで、マイスタートメニューを表示します。 ※ PC-Talker 10、8

PC-Talker タッチ機能を使用する

画面上の場所を意識することなく操作可能な独自のタッチ操作を、起動するかを設定します。 ※ PC-Talker 10、8 画面タッチ機能対応モデル

e

テキストサービスの詳細設定

音声認識入力や手書き認識入力といった入力環境を利用するためのサービスです。 初期設定では、この詳細なテキストサービスが有効な状態となっています。 ほとんどのアプリケーションは、テキストサービスの機能を利用していませんので問題ありませんが、 アプリケーションによっては、詳細なテキストサービスが有効なときに日本語変換操作を正しく音声 ガイドできないことがあります。

その場合、詳細なテキストサービスを無効にすると改善できることがあります。

Adobe Reader の設定

Adobe Reader の PDF 文書を適切に読み上げる環境設定を、行います。

CD 自動起動の設定

インストール CD を挿入したときに、プログラムを自動で起動出来るようにする設定です。

コンピュータの保護(UAC)の設定



Intel Graphics ホットキーの設定

Intel Graphics のホットキー(ショートカットキー)を、無効に設定します。

Ctrl + Alt + F12 を入力すると、Intel Graphics ドライバーの設定画面が開いたり、Ctrl + Alt + ↓を入力 すると、画面表示が回転してしまい、PC-Talker の機能が実行できないときの対処です。

PC-Talker XX の初期化

PC-Talker の設定を、出荷時の状態に戻します。

VDMW 互換設定

☑ VDMW互換設定 ×	コマンドのキー配置
コマンドのキー配置	コマンド(ショートカットキー)を、
PC-Talkerコマンド	PC-Talker のコマンドを利用するか、
マ	VDMW のコマンドを利用するかを設定します。
又子の詳細読の計画	文字の詳細読み辞書
PC-Talker標準辞書 ~	文字の詳細読み辞書を、
OK キャンセル	PC-Talker の辞書を利用するか、 VDMW の辞書を利用するかを設定します。

7. マイアプリケーションの設定

当社アプリの、共通設定を行います。

色とデザイン

当社アプリ全ての、画面拡大率や、表示色を、共通の設定にします。 または、PC-Talker で有効にするか設定します。

色とデザインを調整		
 画面の拡大率 画面の拡大率 通常 メニューとダイアログの拡大率 		
通常 ▼ 表示色 画面の表示色 白黒反転 ▼ aA1あア亜		
メニューとダイアログの色 ファイル(F) Windows標準 マアイル(F) 日本語変換中の色 あいうえお		
□拡大ダイアログの操作中は 視点を固定できるように表示する カーソルの形 ●文字反転 ○縦棒 □カーソルを点滅しない 設定 キャンセル 出荷時の状態に戻す 		

設定で、 🥑 後に、全体で有効にするか、PC-Talker で、有効にするか設定します。



操作補助

操作補助	
 ●マイアブリケーションの操作補助を有効にする(<u>M</u>) 操作補助項目(S) ● ダイアログボックスのキー操作とファイルダイアログ ○ ファイルダイアログのみ 	
設定キャンセル 出荷時の状態に展	ţġ

マイアプリケーションの操作補助を有効にする Windows 標準キー操作を行うか、AOK キー操作 を行うかを設定します。

ダイアログボックスのキー操作とファイルダイアログ

ダイアログボックスとファイルダイアログ(MYEDITIでの「開く」の画面)を AOK キー操作と AOK ファ イルダイアログを使う設定します。

ファイルダイアログのみ

キー操作は Windows 標準操作で、AOK ファイルダイアログのみを使う設定にします。

※1 当社製品に共通のダイアログです。キーボードで操作しやすくなっています。

8. システムツール

「ディスク クリーンアップ」「ディスク デフラグ」「回線を切断する」「画面のハイコントラスト表示を 切り替える」を、実行します。

ディスク クリーンアップ

一時ファイルやオフラインファイル等を削除して、ディスク容量を増やします。

ディスク デフラグ

ハードディスクをデフラグ(最適化)します。

パソコンを長く使用していると、ハードディスクに記録されたデータが断片化されてしまいます。 断片化すればするほど、アプリケーションの起動や、データへのアクセス速度が低下します。

回線の切断

アナログ接続の、電話回線接続を切断します。

画面のハイコントラスト表示を切り替える

Windows 画面を通常表示か、ハイコントラスト表示に設定します。

ハイコントラス	(h		×
?	ハイコントラスト画面(こしますか?	
	(はい(<u>Y</u>)	ાપ્સં <u>(N</u>)	
	Bit in the second secon		



PC-Talker コマンド一覧

PC-Talker のショートカット一覧です。

Windows キーの表記を、Win で表記しています。

フルキーショートカットコマンド

ウインドウ画面をガイドする操作

ウインドウ名読み	Ctrl+Alt+1 Ctrl+Alt+テンキー1
タスク一覧	Ctrl+Alt+2 Ctrl+Alt+テンキー2
タスク数読み	Ctrl+Alt+B
ステータスバー読み	Ctrl+Alt+3 Ctrl+Alt+テンキー3
メニューバー読み	Ctrl+Alt+4 Ctrl+Alt+テンキー4
タスク名読み	Ctrl+Alt+5
ツールバー読み	Ctrl+Alt+6 Ctrl+Alt+テンキー6
ウインドウの仮想カーソル操作	Ctrl+Alt+矢印キー
ウインドウ全文読み	Ctrl+Alt+Z
	Ctrl+Alt+. (ピリオド)
音声ログの読み上げ	Ctrl+Alt+PageUp(過去のログへ)
	Ctrl+Alt+PageDown(戻る)
情報読み	Ctrl+Alt+G
音声をクリップボードヘコピー	Ctrl+Alt+S
再読み	Ctrl+Alt+R

入力中の操作コマンド(エディトコントロール)

1 行読み	Ctrl+Alt+J Ctrl+Alt+テンキー0
行頭からカーソル手前読み	Ctrl+Alt+H
カーソルから行末読み	Ctrl+Alt+K
カーソル位置読み	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (ጋንኛ)
コード読み	Ctrl+Alt+l Ctrl+Alt+テンキー7
識別読み	Ctrl+Alt+M Ctrl+Alt+テンキー5
点字符号読み	Ctrl+Alt+F
入力キーの読み上げ設定	Ctrl+Alt+¥
クリップボードの自動読み 切り替え	Ctrl+Alt+X
クリップボード全文読み	Ctrl+Alt+C
カーソル位置から全文読み	Ctrl+Alt+F10 Ctrl+Alt+A

その他の音声ガイド

バージョン情報	Ctrl+Alt+9 Ctrl+Alt+テンキー9
キー入力状態	Ctrl+Alt+/ (גדָיאָב)
時計読み	Ctrl+Alt+8 Ctrl+Alt+テンキー8
日付読み	Ctrl+Alt+Y

ガイド音声の設定

カーソル文字の読み方(設定)	Ctrl+Alt+F8 Ctrl+Alt+V
フォネティック読み(設定)	Ctrl+Alt+T
日本語変換時の読み方(設定)	Ctrl+Alt+P

なめらか読みの設定

上下カーソル行読み(設定)	Ctrl+Alt+F6 Ctrl+Alt+L
数字位取り読み(設定)	Ctrl+Alt+O
句点括弧読み(設定)	Ctrl+Alt+U Ctrl+Alt+F5
改行の息継ぎ(設定)	Ctrl+Alt+: (בע)
記号読み(設定)	Ctrl+Alt+; (ZEID))
英語読み・翻訳読み(設定)	Ctrl+Alt+E

カーソル文字の読み方設定

カーソル文字の読み方 切り替え	Ctrl+Alt+F8	Ctrl+Alt+V
フォネティック読み 切り替え	Ctrl+Alt+T	
上下カーソル移動時の1行読み	Ctrl+Alt+F6	Ctrl+Alt+L

直前の音声ガイドを再読み

再読み	Ctrl+Alt+R
クリップボードに直前の読み上げをコピー	Ctrl+Alt+S
前の音声ログ⋙を読み上げ	Ctrl+Alt+PageUp
次の音声ログ ^{≫1} を読み上げ	Ctrl+Alt+PageDown

※1: PC-Talker は、過去に出力した音声ガイドを最大20個まで記憶しています。

これを音声ログと呼びます。

画面をOCR 認識して読み上げ

フォーカスのある項目を画面 00 読み	Ctrl+Alt+Win+3
アクティブウィンドウ全体を画面 00 読み	Ctrl+Alt+Win+4

画面のスクリーンショット

アクティブウィンドウのスクリーンショット	Ctrl+Alt+Win+1
画面全体のスクリーンショット	Ctrl+Alt+Win+2

日本語変換時の読み方(設定)	Ctrl+Alt+P
日本語入力ライン1行読み	Ctrl+Alt+J Ctrl+Alt+テンキ―0
注目文節読み上げ(反転表示部分)	Ctrl+Alt+H
注目文節以降の読み上げ	Ctrl+Alt+K
日本語入力ライン1行 校正読み	Ctrl+Alt+Win+J Ctrl+Alt+Win+テンキ―O
注目文節 校正読み	Ctrl+Alt+Win+H
注目文節以降 校正読み	Ctrl+Alt+Win+K
国語辞典の語釈読み機能を使用する場合	
国語辞典 語釈読み 先頭一致検索	Ctrl+Alt+H Alt+↓
国語辞典 語釈読み 完全一致検索	Ctrl+Alt+J Alt+↑

IME / ATOK の辞書ウィンドウの読み上げ

仮想カーソルの移動	
上の行へ移動	Ctrl+Alt+↑
下の行へ移動	CtrI+AIt+↓
上端の行へ移動	Ctrl+Alt+Win+↑
下端の行へ移動	Ctrl+Alt+Win+↓
仮想カーソル上の行内の文字移動	
左の文字へ移動	Ctrl+Alt+←
右の文字へ移動	Ctrl+Alt+→
左端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+←
右端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+→

制御コマンド

PC-Talker 7 メニュー表示	Ctrl+Alt+F12
PC-Talker コマンドを1回スルー	Ctrl+Alt+Win+Z
音声の停止/再開	Ctrl+Alt+F2 Ctrl+Alt+N
PC-Talker 7 終了	Ctrl+Alt+F3
PC-Talker 7 再起動	Ctrl+Shift+F3 ※ショートカット
音声スピードを上げる	Ctrl+Alt+F7 Ctrl+Alt+Q
音声スピードを下げる	Ctrl+Alt+Win+F7 Ctrl+Alt+Win+Q
音声の音程を上げる	Ctrl+Alt+W
音声の音程を下げる	Ctrl+Alt+Win+W
音声出力ボリュームを上げる	Ctrl+Alt+^
音声出力ボリュームを下げる	Ctrl+Alt+Win+^
読み上げ音声中断	Shift または Escape
出力先を Windows 既定のデバイスに戻す	Ctrl+Alt+Win+F2
音声の種類を変更する メイン音声	
メイン音声の名前 前を選択	Ctrl+Alt+Win+R
メイン音声の名前 次を選択	Ctrl+Alt+Win+F
選択したメイン音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C
音声の種類を変更する サブ音声	
サブ音声の名前前を選択	Ctrl+Alt+Win+E
サブ音声の名前 次を選択	Ctrl+Alt+Win+D
選択したメイン音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C
デスクトップを開く	Ctrl+Alt+Tab

読書音声に関するコマンド

読書音声のスピードを上げる	Ctrl+Alt+Win+6
読書音声のスピードを下げる	Ctrl+Alt+Win+Y
読書音声の音程を上げる	Ctrl+Alt+Win+7
読書音声の音程を下げる	Ctrl+Alt+Win+U
読書音声の種類前を選択	Ctrl+Alt+Win+T
読書音声の種類 次を選択	Ctrl+Alt+Win+G
選択した読書音声で決定	Ctrl+Alt+Win+C

マウス操作

マウスカーソルの読み上げ 切り替え	Ctrl+Alt+_(ፖንኝ –ፇ፞፝፝፝፝፝፝፝፝፝፝፝፝፟፝፝፝
マウスカーソル自動移動	Ctrl+Alt+[前のコントロール
	Ctrl+Alt+] 次のコントロ―ル
マウスボタンクリック	Ctrl+Alt+@ 左ボタン
マウスカーソル十字線の表示 切り替え	Ctrl+Alt+Win+_(アンダ –ライン)

ピンディスプレイ出力 ON/OFF	Ctrl+Alt+F4

PC-Talker コマンドヘルプ

コマンドヘルプを開く	Ctrl+Alt+Win+F12
コマンドヘルプを閉じる	Escape
上の項目を選択	1
下の項目を選択	Ļ
10 件単位で上の項目を選択	PageUp
10件単位で下の項目を選択・	PageDown
上端の項目を選択	Home
下端の項目を選択	End
次のサブメニューへ進む	\rightarrow
前のメニューへ戻る	←
選択したコマンドの実行	Enter

Internet Explorer の操作・読み上げ

仮想カーソル位置からページの読み上げ	Shift	
ページ先頭から全文読み	Ctrl+Alt+A	Ctrl+Alt+F10
仮想カーソルを上の項目に移動して読み上げ	Ctrl+↑	
仮想カーソルを下の項目に移動して読み上げ	Ctrl+↓	
仮想カーソルを右に移動して読み上げ	Ctrl+→	
仮想カーソルを左へ移動して読み上げ	Ctrl+←	
仮想カーソルを10項目上へ移動して読み上げ	Ctrl+PageUp	
仮想カーソルを10項目下へ移動して読み上げ	Ctrl+PageDown	
仮想カーソルをページのトップへ移動	Ctrl+Home	
仮想カーソルをページのラストへ移動	Ctrl+End	
仮想カーソルの項目を、再度読み上げ	Ctrl+Enter	
現在の仮想カーソル位置を項目の位置で読み上げ	Ctrl+Alt+F9	Ctrl+Alt+, (コンマ)
翻訳読み切り替え	Ctrl+Alt+E	
仮想かりル位置の文字を点字符号読み	Ctrl+Alt+F	
情報読み・Webコントロールはホームページとかイト	Ctrl+Alt+G	
先頭から仮想加ル項目手前読み	Ctrl+Alt+H	
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+I	Ctrl+Alt+テンキー7
仮想加州項目読み	Ctrl+Alt+J	
仮想カーソル項目以降読み	Ctrl+Alt+K	
リンクのURLを読み上げて、クリップボードにコピー	Ctrl+Alt+M	
再読み・前回の音声を再度読み上げ	Ctrl+Alt+R	
ページの内容をすべてクリップボードにコピー	Ctrl+Alt+S	
左の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+←	
右の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+→	

仮想カーソルのジャンプ	
次の未読リンクへ移動	U
前の未読リンクへ移動	Shift+U
次の既読リンクへ移動	V
前の既読リンクへ移動	Shift+V
次のリンク項目へ移動	Tab(Web コントロール標準)
前のリンク項目へ移動	Shift+Tab(Web コントロール標準)
次の見出し項目へ移動	Н
前の見出し項目へ移動	Shift+H
次の見出し項目の特定レベルへ移動	1 から 6
前の見出し項目の特定レベルへ移動	Shift+1 から Shift+6
次の箇条書き項目へ移動	L
前の箇条書き項目へ移動	Shift+L
次のテーブル要素へ移動	Т
前のテーブル要素へ移動	Shift+T
次のフォームコントロールへ移動	F
前のフォームコントロールへ移動	Shift+F
次のエディットボックスへ移動	E
前のエディットボックスへ移動	Shift+E
次のプッシュボタンへ移動	Р
前のプッシュボタンへ移動	Shift+P
次のラジオボタンへ移動	R
前のラジオボタンへ移動	Shift+R
次のチェックボックスへ移動	X
前のチェックボックスへ移動・	Shift+X
次のコンボボックスへ移動・	С
前のコンボボックスへ移動・	Shift+C
次のランドマークへ移動	Μ
前のランドマークへ移動	Shift+M

PDFファイルの読み上げ

前のページへ移動	←
次のページへ移動	\rightarrow
最初のページへ移動	Home
最後のページへ移動	End
スクロールアップ	1
スクロールダウン	ļ
前の画面へ移動	PageUp
次の画面へ移動	PageDown
スクロール読み	上下矢印キー
仮想カーソル位置からページ読み	Shift
ページ先頭からページ読み	Ctrl+Alt+A Ctrl+Alt+F10
仮想カーソルを上の項目へ移動	Ctrl+↑
仮想カーソルを下の項目へ移動	Ctrl+↓
仮想カーソルをページの先頭項目へ移動	Ctrl+Home
仮想カーソルをページの最終項目へ移動	Ctrl+End
仮想カーソル上の項目内の文字	
左の文字へ移動	Ctrl+←
右の文字へ移動	Ctrl+→
ページ番号読み	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+1 Ctrl+Alt+テンキーフ
仮想カーソル位置の文字を点字符号読み	Ctrl+Alt+F
仮想カーソルによる範囲選択	
左の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+←
右の文字へ移動して文字選択	Ctrl+Shift+→
仮想カーソル上の項目を再読み	Ctrl+Alt+R
ページの内容をクリップボードにコピー	Ctrl+Alt+S

仮想カーソルの移動	
仮想カーソルを上の行へ移動	Ctrl+Alt+↑
仮想カーソルを下の行へ移動	Ctrl+Alt+↓
仮想カーソルを前のコマンドラインへ移動	Ctrl+Alt+Win+↑
仮想カーソルを次のコマンドラインへ移動	Ctrl+Alt+Win+↓
仮想カーソル上の行の文字移動	
左の文字へ移動	Ctrl+Alt+←
右の文字へ移動	Ctrl+Alt+→
左端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+←
右端の文字へ移動	Ctrl+Alt+Win+→
仮想カーソル位置の読み上げ	Ctrl+Alt+F9 Ctrl+Alt+, (コンマ)
仮想カーソル位置の文字をコード読み	Ctrl+Alt+I Ctrl+Alt+テンキー7
仮想カーソル位置の文字を点字符号読み	Ctrl+Alt+F
仮想カーソル上の行を再読み	Ctrl+Alt+R

Windows ヘルプ(CHM 形式)の画面読み上げ

ヘルプ本文ウィンドウヘフォーカス移動	Ctrl+Alt+Win+@
--------------------	----------------

テンキーモードへの切換

テンキーモード・次に切り換え	Ctrl+Alt+Home
テンキーモード・戻る	Ctrl+Alt+End

クリップボード操作(テンキーコマンド1)

[7] クリップ ボ ート カーソル	[8] クリップ ホ゛ート゛カーソル	[9]
文字コード読み	↑上移動	クリップボード自動読み
[4] クリップ ボート カーソル	[5] クリップ ホ゛ート゛カーソル	[6] クリップ ボート カーソル
←左移動	文字読み	右移動→
[1]	[2] クリップ ボート゛カーソル	[3]
	下移動↓	
[0]		[4]
クリップボー	ード1行読み	クリップボード全文読み

Ctrl+

[7]	[8] クリップ ホ`ート`カーソル	[9]
	↑上はし	
[4] クリップ ホート・カーソル	[5]	[6] クリップ ボート カーソル
←左はし		右はし→
[1]	[2] クリップ ボート カーソル	[3]
	下はし↓	
[0]		[4]

AIt+

[7]	[8]	[9]
タスク7	タスク8	タスク 9
[4]	[5]	[6]
タスク4	タスク5	タスク6
[1]	[2]	[3]
タスク1 ※直前のタスク	タスク2	タスク3
[0]		[Å]
スタート	メニュー	デスクトップ

マウス操作(テンキーコマンド2)

[7]	[8]	[9]
左ボタンクリック	↑マウス上移動	右ボタンクリック
[4]	[5]	[6]
←マウス左移動		マウス右移動→
[1]	[2]	[3]
ウインドサイズ切換	マウス下移動↓	
[0]		[4]
次のコン	トロールへ移動	マウス位置読み上げ
		(全画面中)

AIt+

[7]	[8]	[9]
中央ボタンクリック	↑マウス高速上移動	マウスホイール上
[4]	[5]	[6]
←マウス高速左移動		マウス高速右移動→
[1]	[2]	[3]
	マウス高速下移動↓	マウスホイール下
[0]		[4]
前のコントロ	コールへ移動	マウス位置読み上げ
※または直前のコ	ントロールに移動	(ウインドウ内)

Ctrl+

[7]	[8]	[9]
左上ブロックに移動	上ブロックに移動	右上ブロックに移動
[4]	[5]	[6]
左ブロックに移動	真ん中ブロックに移動	右ブロックに移動
[1]	[2]	[3]
左下ブロックに移動	下ブロックに移動	右下ブロックに移動
[0]		[�]
		マウス位置読み上げ
		(ブロック単位)

補足説明(点字キー操作) ※KTOS(点字ドライバ)必須

|--|

点字周辺キー

コマンド	F Jポジション	
JISコード読み	3 の点の左下	Zo
点字符号読み	2 の点の左下	Xa
識別読み	1 の点の左下	C _₹
数字位取り読み(設定)	1 の点の右下	٧v
句点括弧読み(設定)	1の点の右下右	Ba
カーソル移動時の読み方(設定)	4 の点の左下	Na
上下カーソル移動時の行読み(設定)	4 の点の右下	Mt
フォネティック読み(設定)	5の点の右下	, 3
英語読み・翻訳読み(設定)	6の点の右下右	\backslash_3
再読み	1 の点の右	Gŧ
日本語変換時の読み方(設定)	3 の点の上	Wτ
全角直接入力に切り替え	1 の点の右上	Tn
半角直接入力に切り替え	1の点の右上右	Y ₆
日本語変換入力に切り替え	4 の点の左	Hõ
元に戻す	6の点の右上	Pt
やり直し	6の点の右上右	@.

点字キーで代替入力可能なキー

(※詳しくはKTOSオンラインマニュアルをご覧ください。)

	(1)+Z1°-Z	
Enter	6 の点の右	
Back Space	(4)+Z1°-Z	
Delete	5+71° -7	
Escape	6+่่่่่ำ+่่่่่่ -่่่่่่่	
Insert	<i>٤</i> ٠+٫٫٫۲ −٫۲	
Tab	3 の点の左	
Shift+Tab	Shift + 3の点の左	
↑(上矢印キー)	25+21°-2	
	6 の点の上	
↓(下上矢印キー)	36+21°-2	
	6 の点の右下	
←(左矢印キー)	4 の点の上	
→(右矢印キー)	@+X^°-X	
	5 の点の上	
Home	せ+無変換	
End	ら+無変換	
Page Down	ね+スペース	
Page Up	は+スペース	
Alt	6+無変換	
Alt+F4	め+スペース	
日本語 ON	4 の点の左	





Windows 8 のショートカット一覧です。

機	能	Windows +
チャー	ムを開く	С
デスク	トップを表示	D
Windo	ws エクスプローラーを開く	E
検索チ	ャームの「ファイル」に移動(+ Ctrl で、ネットワーク上のコンピュータを検索)	F
デスク	トップ ガジェットを順番に切り替え	G
共有チ	ヤーム	Н
設定チ	ヤーム	I
スナッ	プされたアプリと大きなアプリ間でフォーカスを切り替え	J
デバイ	スチャーム	К
ユーザ	ーを切り替え(ドメイン上ではコンピュータをロック)	L
全ての	ウインドを最小化(デスクトップ)	М
画面の	向きをロック	0
プロジ	エクションオプション	Р
検索チ	ヤーム	Q
ファイ	ル名を指定して実行	R
タスク	バーにフォーカスを設定し、実行中のデスクトップアプリを順番に切り替え	Т
コンピ	ュータの簡単操作センター	U
通知を	順番に切り替え(+Shift で逆順に切り替え)	V
検索チ	ャームの「設定」に移動	W
Power	Users コマンドのクイックリンク	Х
アプリ	を開く	Z
タスク	バー上の特定位置のアプリに移動	1-9
拡大(拡大鏡)	+
縮小(拡大鏡)	—
デスク	トップのプレビュー	, (コンマ)
Metro `	アプリを右にスナップ(+Shift で左にスナップ)	. (ピリオド)
ナレー	ターを起動(+Alt で Windows Media Center を開く)	Enter
入力言	語とキーボードレイアウトを切り替え	Space
Metro `	アプリの履歴を順番に切り替え	Tab
拡大鏡	を終了	Esc
非アク	ティブなデスクトップウインドウを最小化	Home
スター	ト画面を左のモニタに移動	Page UP
スター	ト画面を右のモニタに移動	Page Dows
システ	ムのプロパティー	Break

デスクトップウインドウを左にスナップ(+Shift でウインドウを左のモニタに移動)	←
デスクトップウインドウを右にスナップ(+Shift でウインドウを右のモニタに移動) -	→
デスクトップウインドウを最大化(+Shift で幅を維持)	1
デスクトップウインドウを元に戻す/最小化 (+Shift で幅を維持)	Ļ
コンピュータの基本的な情報の表示 F	Pause
Windows ヘルプとサポート F	F1

Screen Reader

PC-Talker

PC-Talkerの開発にあたっては、たくさんの方にご意見とご協力いただきました。 ここに厚くお礼を申し上げます。

- ・六点漢字は長谷川貞夫先生が考案された六点方式です。
- ・漢点字は、川上泰一先生が考案された八点方式です。
- PC-Talker 10、PC-Talker 8、PC-Talker 7、株式会社 高知システム開発の、商標または登録 商標です。
 VDMW800、VDMW700、VDMW は、株式会社 アクセステクノロジーの商標または登録商標です。

Windows はマイクロソフト社の、商標または登録商標です。

- PC-Talker 10、PC-Talker 8、PC-Talker 7、PC-Talker Vista、PC-Talker XP は、(株) 高知 システム開発の著作物であり、これにかかる著作権などの権利は、(株) 高知システム開発に 帰属します。
- ・マニュアルの一部または全部を無断で複写・複製することは固く禁じます。
- ・マニュアルの内容は将来予告なしに変更することがあります。
- ・キーボードの種類によっては点字入力ができない場合があります。
- ・フルキー六点漢字入力は、星加恒夫氏が考案された入力方式です。
- ・ NEWBRL は、ニューブレイルシステムの商標または登録商標です。
- ・その他の記載されている製品名は、弊社または各社の、商標または登録商標です。

Screen Reader PC-Talker

発行所 株式会社 高知システム開発

〒780-0048 高知県高知市吉田町2番23号 TEL (088)873-6500 FAX (088)873-6599 http://www.aok-net.com/ 2015年10月28日第1版 第1刷発行

PC-Talker をセットアップ前に、ご確認してください。

セットアップ前に必ずご確認ください。 以下の条件を満たしていないと、**PC-Talker**の機能を十分に使うことができません。

動作環境

ハード

- CPU Pentium4 2GHz以上 (推奨 Core 2 Duo 以上)
- ハードディスク 空き容量 3GB以上 (PC-Talker のみ)(推奨 16GB以上)
- メモリ1 GB以上のシステムメモリ(推奨 2 GB以上)Windows 64Bit 版は、2 GB以上(推奨 4 GB以上)

DVDドライブ インストール時に必要

WAVE 出力可能なサウンド機能 (Direct Sound 対応サウンドカード/内蔵サウンド機能搭載パソコン)

ソフト

PC-Talker 10	Windows 10	32bit/64bit
PC-Talker 8	Windows 8	32bit/64bit
PC-Talker 7	Windows 7	32bit/64bit

※ Windows95、Windows98、Windows98Se、Windows Me、Windows 2000、Windows XP、 Windows Vista には、対応していません。

Internet Explorer Internet Explorer 11以上 Acrobat Reader Adobe Reader X 以上

この仕様は、2015年9月28日現在のものです。技術改善等により、予告なしに変更する場合があります。 **※PC-Talker 10、PC-Talker 8、PC-Talker 7**は、(株) 高知システム開発の商標です。 **※Windows、Word、Excel、Internet Explorer**は米国マイクロソフト社の登録商標です。 **※Pentium、Core 2 Duo**は、Intel Corporationの登録商標です。 **※エクストラは、有限会社エクストラの製品です。 ※IBUKI-TEN**は、岐阜大学工学部応用情報学科池田研究室で開発された、自動点字翻訳システムです。 **※Adobe Acrobat Reader**は、アドビシステムズ株式会社の登録商標です。